



社会福祉法人 若竹会 地域密着型 特別養護老人ホーム サンホームみやこ絆

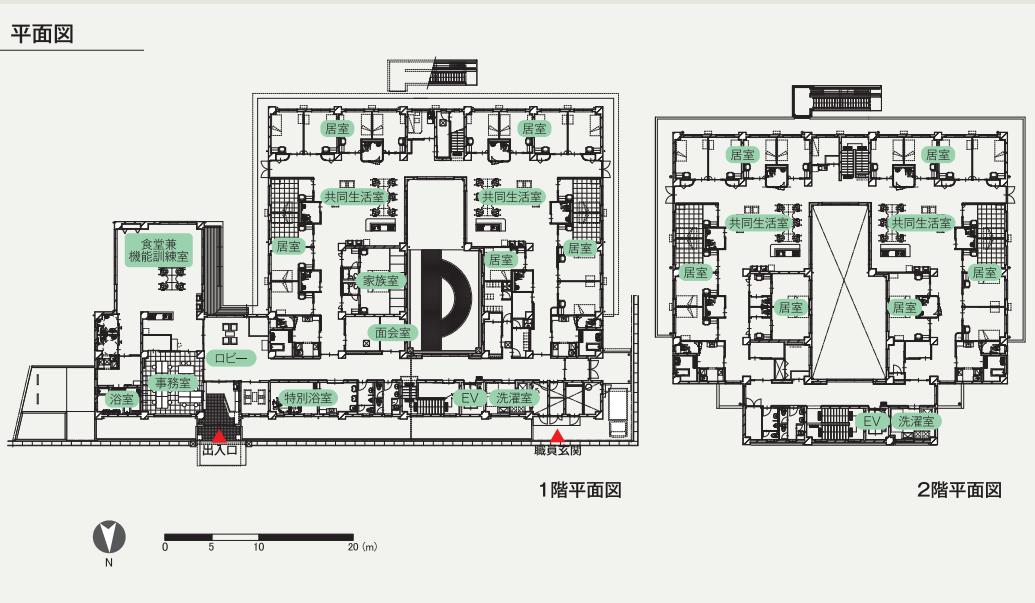
施工地／岩手県宮古市崎ヶ崎
第4地割1番地43
竣工年月／平成24年3月
敷地面積／2,285.42m²
延床面積／2,054.38m²
構造／鉄筋コンクリート造2階建
定員／39床

家族・友人・地域との絆を大切に

昭和50年に設立された社会福祉法人若竹会様は、岩手県宮古市を中心に「いたわり」と「やさしさ」をモットーに、健全で活力ある利用者本位の福祉サービスの提供と、自立と共生の地域づくりに貢献されてきました。この度、社会福祉法人若竹会様が新たな福祉サービス提供の場として「地域密着型特別養護老人ホームサンホームみやこ絆」を開所いたしました。

東日本大震災では宮古市も大きな被害を受け多くのご支援をいただきました、人とひととの結びつきを実感し、家族・友人・地域との絆を大切にという想いから「サンホームみやこ絆」との施設名となりました。

平面図



家庭的な安らぎの空間

新しく整備されました「サンホームみやこ絆」は住み慣れた街や自宅の生活環境の延長として、入所者同士のコミュニティーを育む「いたわりとやさしさ」に溢れるシルバーライフ環境の構築を目指し計画いたしました。各居室は入所者のプライバシー保護とゆったりとくつろぎながら自立した生活が送れるよう全室個室とし、その中にライトコートに面する明るい開放的な共同生活室を設け、入所者同士の交流を生むスペースとして、家庭的なやすらぎある交流空間を創造いたしました。また、入所者の生活を支える介護職員のサービスステーションは共同生活室が直接見える位置とし、各居室にも目や耳が行き届きやすい、手厚い介護がおこなえる諸室構成に配慮し計画しました。

人と環境にやさしく

利用者と地球と施設経営にやさしい快適な施設として、暖房方式にはコンクリート躯体への蓄熱を行う床暖房方式とし、冬期間の快適な室内環境を実現しております。また、給湯方式は業務用エコキュートを採用し安価な深夜電力の活用とともに、使用電力の平準化を図りながら省エネルギーに努めております。利用者に快適で使いやすい施設を実現しながら、地球環境にやさしい施設を目指し設計に取り組みました。



エントランス



ロビー



居室



家族室



特別浴室



食堂兼機能訓練室



共同生活室